

## 「官公庁 4.0 研究会」新設のお知らせ

研究会主査 神奈川県庁 岩崎 和隆

研究会幹事 有限会社ディービーコンセプト代表 渡辺 幸三

今年度から、当学会において標記研究会が新設されましたのでお知らせします。

今後、当研究会では講演会などを企画していきます。当学会のホームページやメーリングリストでお知らせしますので、皆様、ふるってご参加ください。当学会の会員、非会員を問わず参加できるようにする予定です。

また、御講演者として御協力いただける方や御推薦をお待ちしております。研究会運営に協力してくださる方も歓迎です。いずれも、当学会の会員、非会員を問いません。他の研究会との共同開催についても、当学会のみならず、他学会とも積極的に行いたいと考えております。

連絡先は、本稿末尾に記載しております。

皆様、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 1 研究テーマ

人間中心を大前提とし、人間のためにITを活かし切るという考えに基づき、情報システム学の視点でこれからの官公庁のあるべき姿をデザインする。

### 2 研究テーマ設置の趣旨

ITを活かし切るという視点で、官公庁のあり方を全面的にデザインしなおす。現時点でデザインしなおすことを想定しているものは、次のとおり。

- (1) 国民・住民に提供するサービス
- (2) 国と自治体の役割分担の見直し
- (3) 民主主義の強化
- (4) 国民・住民の参加意識の変革
- (5) システム調達改革

なお、官公庁4.0と名付けたのは、次の表1のような認識による。

表1 明治以降の官公庁の歴史

バージョン	時期	出来事、説明
1.0	明治～戦前	
2.0	戦中・戦後～2000年ごろ	1940年 所得税源泉徴収制度の開始 1942年 厚生年金保険制度の前身の労働者年金保険制度の開始 1947年 労働基準法施行
3.0	2000年ごろ～現在	2000年 地方分権一括法施行 2001年 eJapan 戦略策定
4.0	これから	・ IT のポテンシャルを活かし切り、国民、住民の利便性を最大化しつつ、人口減少社会に備え、より少ない職員数で官公庁の業務を行えるようにするなど ・ IT を活用した民主主義の拡充

### 3 連絡先

岩崎 和隆 (gisr.iwasakikazutaka【atmark】gmail.com)